

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【東大成小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」 算数「数と計算」 <指導上の課題> 学年間・個人間で大きな差がみられる。個別の支援の時間がなかなか確保できない。	⇒ 授業の始めや単元の終末に学習内容を振り返る時間(習熟の時間)を設ける。【単元ごと】 ドリル/ワーク等を活用し、個別最適な学びの充実を図る。【週に1回以上】 児童の実態を共有し、個別支援の充実を図る。また、それに対する成果と課題を振り返り、指導に活かす。【1ヶ月に1回】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「書くこと」「読むこと」 算数「図形」 <指導上の課題> 学年間・個人間で大きな差がみられる。自身の考えを説明する活動や他者と学び合う活動を充実させていく必要がある。	⇒ 授業の終わりにその時間で自分が学んだことを振り返る時間を設定する。【毎時間】 話し合い活動では、ICTなどの思考ツール等を活用しながら自身の考えを説明する活動を行い、協働的な学びの充実を図る。【単元ごと】 校内研修会をとおして共通理解を図り、「学び方」「教え方」改革を推進し、児童の思考力・判断力・表現力を育成できる授業実践をする。【通年】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)